



設立45周年を迎えたハワイ北海道人会の会長

な ら かんぞう
奈 良 鑑 三 さん

「北海道で生まれ育って18年、来年でハワイに住んで18年になる。人生の半分ずつを過ごしたハワイと北海道が友好提携を結んだ。何より幸せ」。北海道と米国ハワイ州の友好提携を記念して8日にホノルルで開かれた式典で、あいさつに立った。ハワイ北海道人会はオアフ島の道内出身者の親睦を目的として1972年に発足。会員は約120人で2015年に会長に就任した。

父が日本人、母が米国人で、

ひと

2017

小樽や紋別などで育った。札幌の高校を中退後、日夜アルバイトをして移住費用のため、ハワイの州立学校に入学。卒業後はホノルルの旅行会社で働きながらハワイ大に通い、06年にIT会社を設立した。日本語と英語に対応するウェブデザイン会社として、日米双方の企業を顧客としている。ハワイで初のIT専門学校も開校した。

経営が軌道に乗り「ふるさとに関わるボランティアを」と参加したのが道人会だった。公式ホームページの作成やNPO法人化に取り組んだ。友好提携の式典は、道人会の設立45周年も祝い、開催準備に奔走した。

昨年10月、神奈川県出身の妻との間に長男（いっくん）ちゃんが生まれた。将来はハワイと対照的な北海道の冬を経験し、日本の教育も受けてほしいと願う。「友好提携は新たな関係のスタート。道人会が、これからも北海道とハワイ、太平洋をつなぐ懸け橋でありたい」。熱い思いを語る35歳。
（竹中達哉）